

白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食ってみてけらい～ん！
～白石市農産物直売所連絡協議会は、地産地消を推進します～

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。 ☎農林課 ☎22-1253



平成26年度白石市産米取り扱い中！ 「馬牛沼産直センター」、「小十郎の郷」、「羽山朝採り市」で白石産米を取り扱っています！ 詳しくは、各直売所へお問い合わせください。

●今月の人気農産物 ホウレンソウ、アサツキ、キャベツ、大根、ネギ など



バーバ工愛市(クラブいち)

①旧JAみやぎ仙南白石地区事業本部ななめ向かい (バーバ工愛市のオレンジ色のほり旗が目印です！)

1月21日(水)から営業します。営業初日は、初売りプレゼントを用意しています。毎週水曜日 9:30～12:00 (2月末まで)

②JAみやぎ仙南福岡支店構内店 (旧あぐりハウス白石)

3月から営業 ☎JAみやぎ仙南女性部白石地区バーバ工愛市 ☎25-3531

軽トラ市 毎週金曜日9:00～12:00

1月9日(金)から営業します。

●場所 すま i りのひろば ☎四電 ☎29-2451、山田 ☎26-1345

羽山朝採り市 毎週土曜日9:00～12:00

1月24日(土)から営業します。

●場所 犬卒都婆公会堂前 ☎小畑 胖 ☎27-2236

※しろいし産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

小十郎の郷

1月5日(月)「小十郎の郷」新年もちつき大会を開催します！

小十郎の郷では、新年1月5日(月)から、採れたて新鮮野菜や物産、スイーツ、地酒、地ビールなどを販売します。

5日(月)の11:30～13:00の間に、初売り企画として恒例の「小十郎の郷・新年もちつき大会」を3回開催します(なくなり次第終了)。

●販売時間 9:00～18:00 年末年始を除いて毎日営業 ※12月31日(水)から1月4日(日)まではお休みします。

●場所 JAみやぎ仙南白石地区事業本部構内(福岡長袋字八斗峠) ☎小十郎の郷 ☎22-0881 http://www.kojiuro-sato.com



青っ葉市直売所

月1回の「サービスデー」(定期市)を月初めの販売日に開催します。お買い上げ金額にかかわらず、お好きな新鮮野菜1点をサービス！

※今月はポーチパーク(土曜日)のみ営業します。

①ポーチパーク内 毎週土曜日9:00～12:00

1月17日(土)から営業

②本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば)

2月11日(水)から営業

③いきいきプラザ 4月18日(土)から営業

※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。 ☎大槻 久江 ☎25-8572

馬牛沼産直センター

毎週火・木・土・日曜日9:00～17:00

1月4日(日)から営業します。斎川の特産凍豆腐やころ柿のほか、毎年好評の手作り切り餅などを販売しています。1月4日(日)の初売りでは、恒例のお買い上げ抽選会を開催しますので、ぜひお越しください。

●場所 国道4号沿い馬牛沼付近 ☎馬牛沼産直センター ☎25-0520 bagyunuma@yahoo.co.jp

「斎川米」好評発売中！



小原いきいき直売所

3月まで冬期休業中。4月から営業を再開します。

応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

岩崎 聰之介 選

評 一首目、恠しさに耐えながら、「終えて」と言い、また「教うる」と言う。作者の見つめる老いが、よく出ている。二首目、第四句から五句への切れのある運びがいい。あの山高帽の扮装に似るか。三首目、飾り気なく老いの日常を披露して、明るい。頼もしい奥さまだ。

俳壇 山家 弘子 選

冬銀河大海原を沈めけり
白鳥の声高らかに渡りけり
しぐるるや挺摺る牛を宥め歩す
鎌先のじむ灯かりや初時雨
大鷹の獲物を漁る盆地晴
古里の国見峠の落葉雨
無造作に卓に飾りし水引草

岩松 隆志
高子うぶん
服部 忠孝
沼田 营火
岩澤 伍峯
制野 リエ
末吉アツ子

評 一首目、日本海の夕日の美しさに見惚れていると、たちまち海に呑まれて刻々暗くなつていく。空を仰ぐと宝石を散りばめたような星の氷河の懐懐な美に、寒さを忘れてしまふ。夜になって見えなくなった海を「沈めけり」と言い切ったことで雄大な句になった。二首目、「この声は白鳥の声？」と夕空を仰ぐと帰る白鳥の群が啼きながら遠ざかっている。神々しいその姿を拝し、幸せ一杯になったのであろう。三首目、春に高原に放牧された牛たちが冬になる前に牛舎へと連れ戻される。中には高原から離れたくなくて暴れる牛もいて、子どもをあやすような優しい言葉をかけたたり撫でてやったりしながら降りてくるのも「苦勞である」。

柳壇 四電 英夫 選

米だけの飯あこがれた遠い日々 佐藤 啓子
ボジティブに楽しい事だけ考える 安藤 聡
物忘れ置き忘れて今日も暮れ 高子うぶん
人間の欲へ新たな詐欺手口 草野 清
めずらしい落穂拾いの姿見え 遠藤 舞
ギリギリの間合いを詰めて握手する 門脇 貞造
温暖化日中首脳まだとけぬ 佐久間とみ子
限界だおれの体と集落と 樋口 淨
目を閉じてなぞりし今日の仕舞い風呂 村上 照夫
地場産品知恵が生み出す郷土味 佐藤 孝子

市民文芸

初冬や鼻赤くして客来たる 門脇 貞造
青空や芒野原は燦し銀 佐藤 孝子
はらはらと紅葉散るなり白石城 別当内信夫

～「家族」「夏休み」への思いを川柳に込めて～
平成26年度「ほのぼの川柳コンクール」の入選作品が決定しました！



1_市長賞を受賞した佐藤茉莉衣さん 2_受賞者の皆さんと審査委員長の四電英夫さん(後列右から2番目)

11月26日、男女共同参画社会づくりに関する「ほのぼの川柳コンクール」の表彰式を市役所で行いました。今回は「家族」「夏休み」がテーマ。9回目を迎えた今回は、昨年の約2倍となる218人から496句の応募がありました。審査の結果、10名の作品が入選。さらに、入選作品の中から佐藤茉莉衣さん(白石第二小6年)の作品が市長賞を受賞しました。入選作品を含む応募作品は、1月14日(水)～28日(水)まで、ふれあいプラザ2階ホールに展示します。

●市長賞作品(敬称略)
『そばにいる それだけなのに ホットする』 佐藤茉莉衣

●入選作品(敬称略)

『転ぶなと 息子差し出す 大きな手』	佐藤 啓子
『川の字の まんかわたしの 指定席』	日下 楓月
『おしごとは ほくにもあるよ かぞくだもん』	佐藤 武美
『あせらずに 歩調を合わす 老いの坂』	末吉アツ子
『親切は 見ても聞いても 癒される』	水戸 光徳
『よるごはん 家ぞくそろって うまさばい』	鈴木 百愛
『うれしいな 今日の日曜 パパごはん』	秋葉 龍世
『微笑みが 家族の居場所 作り出す』	平間 啓子
『朝夕と 祖母を見守る 家族の手』	高橋純一朗